2023 年 10 月 3 日

遺伝子組換えダイズは、現在、結莢しています。

2023 年 7 月 13 日に承認を得た*「除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ（承認番号 23-46P-0006）」の栽培試験を、第一種使用規程に基づき、筑波大学 T-PIRC の隔離ほ場（模擬的環境試験圃場 V）で開始しました。

実験内容：遺伝子組換えダイズと非遺伝子組換えダイズの生育特性と成熟期後の低温下での越冬性を調査する。

材料：除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ（OECD UI:DBN-09004-6）と宿主である非遺伝子組換えダイズ（品種：Jack）

栽培方法：2023 年 7 月 14 日、隔離ほ場内に種子を播種した。試験区は、株間 20 ㎝、畝間 65 ㎝、1 畝 2m 長の列を 4 列で 1 プロットとし、遺伝子組換えダイズ 4 プロットと非遺伝子組換えダイズ 4 プロットを交互に配置し、計 8 プロットを生育特性区として配置した。また、越冬性調査区として、遺伝子組換えダイズ 2 列、非遺伝子組換えダイズ 2 列の計 4 列の 1 プロットを設けた。
8 月中旬から 9 月中旬の間に開花期を迎え、10 月 3 日現在、すべての個体で開花期が終了して結莢をしている状況である。
写真左は 8 月 15 日に開花しているダイズ、写真右は１０月 2 日の結莢したダイズの様子。

＊農林水産省 HP より

https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/attach/pdf/seibutsu_tayousei-14.pdf